

エコ. エコ (ecology. economy)

特定非営利活動法人 エコ. エコ

記憶の風景 (3) 野田のサギ山 (その二)

見沼田んぼが開拓された享保12年(1727)から、250年も見沼の人たちはシラサギを守り続けてきました。昭和47年(1972)に営巣するサギが来なくなりました。マダケの減少や農薬などの複合的な要因があったようです。萩原哲さん、萩原知美さん、原田昌代さん、その他地元の皆さんに記憶をたどっていただきました。

子ども達にサギを見せたくて・・・自分が子どもの頃、サギはガオガオと鳴き、うるさくて嫌だったはずなのに、嫁に行ったらしばらくぶりにサギ山に来ると、わが子を自転車の荷台に載せてサギを見せてやりました。飾り羽がとてもきれいでした。

探鳥会・・・昭和43年頃、サギを観るタワーに登りました。探鳥会で訪れましたが、見物客で賑わっていました。

農薬のこと・・・★昭和42年頃だったか、朝早くヘリコプターで農薬をまいているのが珍しくて、子どもと一緒に眺めました。今考えると怖いことです。★小学生の頃、農薬をまいた後は、田畑に入らないように注意されました。子ども心に食べ物を作っているのに変だなと思いました。★農薬をまくと水の中にいる生きものが暴れ出します。それをサギが食べたので、苦しんで死んだサギを見たことがあります。★生活のために農薬を使いましたが、夕方になると気持ち悪くなって、酒もおいしくなくなったので、農薬を使わない農業に切り替えました。

サギとの共生・・・★昭和20年から30年代は、食べ物も豊富ではありませんでした。サギは、巣から落ちた雛を親は決して面倒をみません。大風の後には、いろいろなところから落ちた雛を集めに人々がやってきました。シソの葉などを入れ、骨と肉を細かくたたいて肉団子にして食べました。おいしかったです。

★きれいな羽を集めて売りました。

サギの保護・・・小さい雛は家で育てていました。とてもなついてきて、家の中までついてきました。可愛かったです。

サギの減少・・・サギは急に来なくなったのではなくて、人々の暮らしが変わり始めた頃から、来る数が減っていました。例えば、昭和36年(1961)、大谷県営住宅が出来た頃には、生活排水の異臭が見沼まで臭ってきました。



※「シラサギ記念博物館 - 失われた野田のサギ山の記憶」という本の中に、一枚だけ人を写した写真があります。少年である萩原哲さんがサギを育てている光景です。(写真) 哲さんはサギが営巣に来なくなかった年にお嫁さん知美さんもらいました。現在、無農薬での農業に取り組んでいるのは、サギが一つの要因だと思いましたが、生活のためだとあっさり否定されました。これからの時代は、循環型農業が必要だと感じ、無農薬農法に取り組んでいるとの事です。ご家族で、農業体験普及のための「ファーム・インさぎ山」を立ち上げ「諏訪野」では、薪で焚いた郷土料理を提供しています。お風呂も薪で焚いたお湯でないと肌がピリピリするし、薪で炊いたお米はひと味違うというお話しの中に、私達が失った豊かさを感じました。萩原ご夫妻は、とても繊細な感覚を持っている方という印象を受けました。インタビューに伺ったときは、180人の方々に田植え体験をしてもらった後でした。捨てるものがなく、おいしいものが食べられる循環型農業は、多くの若者の心に真の豊かさを与えているのだと思いました。静かな夕暮れ時、お風呂のための湯を沸かすのでしょうか、煙突から煙が出ていました。(続く)

聞き書きも含め文責 加倉井範子



コサギ
シラサギたち



チュウサギ



ダイサギ



アマサギ

写真 千葉博子・加倉井憲一

今後の予定



自然は nature is my
best friend
we can be happy
If all people understand
nature on the earth
ともだち



観察会

小雨決行、荒天中止

○キャンプ場が取れたらプログラムを追加します。

◇集合場所 見沼自然公園入り口東屋

◇時間 9時30分～11時30分頃

◇参加費 大人 500円

子ども 100円

(会員割引大人300円)

- 6/19(日) クモの観察会・午後座学
- 7/23(土) セミの羽化を観よう(夜間)
- 8/21(日) コウモリを見つけよう(夜間)
- 9/11(日) バッタ選手権
- 10/16(日) 植物って何?
- 11/20(日) 秋の薬草園へ行こう!
- 12/18(日) 冬鳥の観察会
- 1/15(日) 凧を揚げよう(子ども200円)



マルコ保全

第2木曜日・第3金曜日 9時から

さいたま市緑区

南部領辻三角下(トラスト1号地西側)

夏休み自由研究応援

尾間木公民館 2016年7月30日(土)

1. アクティブラーニング

9時30分～12時

調べ学習アドバイス

クラフト作り・板アート



2. 環境講演会 13時15分～15時30分

「地球環境から学ぼう! 私たちの未来」

講師 塩瀬 治さん 獨協学園教諭

3. 皆で語ろう懐かしい未来

15時40分～16時30分



里山.com

里山、畑、湿地体験をします。

時々、収穫物配布(タケノコ、ジャガイモ、サツマイモなど)、

食(マッシュマロ焼き、スモークなど)

クラフト(染色、リースなど)などがあります。

詳しくはHP(エコ.エコで検索)

◇日時 原則第1土曜日

13時15分～16時頃

◇集合場所 トラスト1号地東屋

◇参加費 一般家族 1000円

会員家族 500円

雨天時は第2土曜日に順延

◇保険の関係がありますので、参加される方は事前に連絡してください。道具などはこちらで準備します。

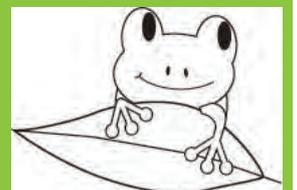
NPO 法人エコ. エコは生物多様性の保たれる空間が広がることを活動の目的にしています。

活動を御支援ください NPO 法人 エコ. エコ

問い合わせ先 メール kaerunomaru@gmail.com

Tel&Fax 048-874-9811 (加倉井)

寄付送金先 エコ. エコ 郵便振替 0110-0-711005



<http://members3.jcom.home.ne.jp/kaerunomaru/>

kaerunomaru で検索

さいたま市マッチングファンド助成事業